

# ごみ減量化に向けたワークショップ かわら版（結果報告）室小路自治会



平成29年7月13日（木）18:30～

滝沢市では、ごみの処理に関する環境及び資源の問題、ごみの処理に係る費用の問題など、今後「ごみの減量」が必ずや必要となり、市民一丸となって取り組むべきテーマと考え、各地域の皆さんにご協力を頂きワークショップ（意見交換会）を開催しました。

今回のワークショップは、ごみの減量について、色々なアイデアを出していただきながら、皆様で楽しく意見交換していただく場所・機会として、白熱した意見交換が交わされました。

**A班**



まずは、アイデアを考えるよう！

マイバックの使用を強力に推進！

コンポストの町内会単位での活用！

タバコを売らない！

**B班**



建設的な意見が白熱

子供達へも積極的にワークショップ等で意識づけ！

売る側の努力。簡易包装、パックの簡素化！

**C班**



現実性と効果を軸に分類

スーパーが、ごみ減量に取り組むべき！

ティッシュ等、無駄な使い方をしない！

減量の必要性をもっと説明する！

**D班**



発表の準備をしています。

見た目重視のパッケージをやめる！

ごみの出にくい社会のシステムづくり！

手作りの物を飲む！

工業製品を含め土にかえる製品を増やす！

- マイバックの使用を推進する（強力に）
- エコバックの活用
- アルミ缶・ペットボトルは分別にしてリサイクルにまわす
- 包装をできるだけ簡単にする（のし袋だけに）
- 使わない衣類はリサイクルに持って行く
- 家具など使わなくなったらリサイクルへ
- リサイクルマーク表示を大きくする
- コンポストの活用（町内会単位）
- 除草剤を使用する
- 木を植えない
- 野菜調理に工夫して、全部食べる
- タバコを売らない

- スtockヤードで回収する項目を周知して、地域でリサイクルに協力する（資源化）
- 資源ごみになる物の分別をしっかりとやる
- 子供達へも積極的にワークショップ等で意識づけ
- 減量の必要性をもっと説明する
- ゴミの分別→リサイクルの意識
- レジ袋→エコバック
- 買い物にはマイバックを持参
- ペットボトル→マイボトル
- 古着屋やリサイクルショップの活用
- 詰替用を購入して洗剤容器ゴミを減らす
- 売る側の努力。簡易包装、パックの簡素化
- 買い物自体本当に必要な物か考えて控える

- ごみを発生させない工夫をしましょう
- 食材を無駄にしないよう工夫して食べ切る
- あまり使わないものは、レンタル
- 生ごみの水気をとる
- いらなくなった使えるものはフリマに出す
- 割り箸は使わない（マイ箸持参）
- ごみの出にくい社会のシステムづくり
- ティッシュ等、無駄な使い方をしない
- ゴミになりそうな物を買わない、貰わない
- 調理の仕方も考え生ごみを出さないようにする
- リサイクルできるものは捨てる前に考える
- 自分だけでなく、家族の意識を変える
- スーパーが、ごみ減量に取り組むべき
- エコバックを全市民で

- 分別をきちんとする
- 隣り合う自治体で足並みをそろえる
- 商品の過剰な包装をやめてもらう
- リサイクルできるものは室小路のストックヤードに入れる
- エコバックやレンタかごで買い物をする
- 飲み物は、なるべく家で手作りの物を飲む
- トレイなどは洗って、お店に持って行く
- 工業製品を含め土にかえる製品を増やす
- 食品のロスを出さない
- ピン牛乳などリユースに回したいが料金が高いので、そのようなところに補助を
- 食品ごみは、可能なら地中に埋める（都市部では無理か）
- 見た目重視のパッケージをやめる

※上記は、提案された意見を基本的に原文記載としておりますが、同内容意見は、抜粋・組み合わせなどしております。



A班が発表します B班が発表しました C班が発表しています D班の発表です 講評をいただきました

お忙しい中「ワークショップ」へご参加頂きました皆さま、大変有難うございました。色々な意見、沢山のアイデアが出されました。今後、市民皆さまで、市役所の「協働」の大きなテーマになる「家庭ごみ減量化」にとって、推進への指針となる「ひとつひとつ」と考えております。今後とも、宜しくお願いいたします。

滝沢市役所  
市民環境部 環境課